

Chubu Gakuin Alumni association report 中部学院同窓会報 2023

岐阜済美学院保母養成所 岐阜幼稚園教員養成所 岐阜済美学院短期大学
岐阜保育専門学校 中部女子短期大学 中部学院大学 中部学院大学短期大学部

Contents

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 大学・短期大学部学長、同窓会長挨拶 | 8 学びの森フェスティバルのご案内 |
| 2 評議員会開催 | 9 同窓生の声 |
| 3 研究紹介 | 11 進路・就職支援 人材バンク登録のご案内 |
| 5 トピックス「躍動する部活動」 | 12 同窓生特別入試・通信教育部 編入学のご案内 |
| 7 ホームカミングデーのご案内 | 13 同窓会会則 |



■住所変更届けのお願い

同窓会では、同窓会報などの配布のため同窓生の皆さんの住所の把握に努めています。
住所変更などの連絡は、株式会社同窓会事務局にお願いします。

TEL 0120-10-9899 (平日 10:00~17:00)

FAX 0120-10-9184 (終日受付)



本学
ホームページ



本学
Instagram

大学・短期大学部 学長挨拶

躍進する中部学院大学

同窓会の皆様には、平素より母校の教育研究に深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。2020年の春、日本に上陸した新型コロナウイルス感染症は、日本の社会や経済、そして人々の暮らしに計り知れない影響を及ぼしてきました。しかし、2023年5月、この感染症は第5類に分類され、大学の授業や教育研究はほぼ2019年以前に戻りつつあります。また本学の近状の一つとして、硬式野球部が岐阜地区大会、東海地区大会を突破し、春の全国大学野球選手権大会(神宮大会)に出場しました。第1回戦、第2回戦を勝ち上がり、ベスト8まで進出しました。これ以外に、剣道部、空手道部、ゴルフ部などが全国大会に出場します。このように多くの学生さんがスポーツで活躍していると同時に、勉学にもしっかりと取り組んでおります。

一方、中部学院大学は1997年に開設され、すでに27年目を迎えております。人間福祉学部からスタートし、現在は4学部5学科に成長しております。この間、多くの方が卒業され、岐阜県で、東海地域で、日本各地で活躍されている様子を伺うたびに、心強くまた頼もしく感じている次第です。

また、福祉施設(介護等)、医療施設(看護、理学療法)、教育施設(幼稚園、保育園、小学校)、スポーツ関連施設は、地域に必要不可欠な社会的要素であります。本学を卒業された皆様が、このような福祉施設などで働き、地域の一員として活躍されている姿は、地域コミュニティの理想的な一つの姿ではないでしょうか。本学は、卒業生の皆様が地域で活躍されていることを大きくなりどころとして、今後も地域に必要な人材養成を継続してまいります



大学学長
江馬 諭

キラリと光る短期大学部であり続けるために

同窓会の皆様には、日頃より本学の教育ならびに研究活動にご理解ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

短期大学部では現在、創設以来の幼稚教育学科に加え、社会福祉学科(介護福祉コース・美・デザインコース・医療事務コース)を擁し、現在302名の在学生が学んでおります。

上記の両学科で学ぶということは、人間の一生を支える学びが、そこにあるということです。本学独自の科目や認定資格による学びと実践こそ本学の強みです。今後も地域と連携し、地域と共に学生の発信力、企画力、提案力をしっかり磨いて参ります。

短期大学の2年間は、多くの知識と技術の習得が求められますが、大切なことは、与えられた知識を習得するだけの受け身でなく、自らが新たな価値を生み出す力量です。唯一の答えのない激変する時代だからこそ、本学は、「生きる、を学ぶ」をモットーにしています。どのように生きたら自他共に幸せな人生を送れるのか共に学んでおります。様々な「生きることへの探求は、必ずや人生の糧になると信じております。

卒業生の数は1万人を超えて、中部地区をはじめ、国内外の様々な分野での同窓生の皆様の活躍は本学や後輩にとって誇りであり喜びであります。今後も社会に求められる有用な人材を輩出できる大学であり続けるために努力して参ります。

最後に、同窓会の限りないご発展を祈念申し上げるとともに、皆様からの一層のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。



短期大学部学長
片桐 史恵

同窓会長挨拶

中部学院大学・短期大学部同窓会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、中部学院大学・短期大学部同窓会の活動に、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、今年も大学、短大卒業生526名を同窓会新会員として迎えることができました。新会員の皆様には、同窓会の充実発展に向けて、新しい感性やご意見を大学、短大同窓会事務局にお寄せいただきたく思います。

続きまして、今年度は2年に1回の同窓会役員、運営委員の改選の年であります。先の評議会におきまして、ご承認いただきましたのでご報告いたします。

会長、副会長、会計、書記、監事は再任され、新たに副会長 田中一輝、会計監査 金澤由美、運営委員 日比野宅芳、各委員が承認されました。

微力ではございますが、アフターコロナの中、同窓会役員、運営委員、教職員同窓会事務局が一丸となって、同窓会活動を進めてまいります。皆様の変わらぬご協力を今後ともよろしくお願ひいたします。



同窓会会長
小池 久

2023年度 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会評議員会

7月9日(日)に閑キャンパスにおいて開催し、全ての議案について過半数の賛成をもって承認されました。

第1号議案 同窓会役員・事務局体制について
第2号議案 評議員の辞退について
第3号議案 2022年度 事業報告について

第4号議案 2022年度 決算報告について
第5号議案 2023年度 事業計画(案)について
第6号議案 2023年度 予算(案)について



2023年度 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会役員・事務局体制

■同窓会役員

会長 小池 久(専攻科 1999年度卒)
副会長 平井 崇広(人間福祉学科 2001年度卒)
田中 一輝(幼児教育学科 2000年度卒)★
会計 渡辺 高也(人間福祉学科 2019年度卒)
書記 水谷 文貴(人間福祉学科 2007年度卒)
監事/会計監査 山本 竜也(人間福祉学科 2004年度卒)
金澤 由美(幼児教育学科 2004年度卒)★

■教職員同窓会事務局

委員長 小木曾友則(幼児教育学科 2004年度卒)
副委員長 瓜巣 敦子(人間福祉学科 2004年度卒)
事務局員 大学卒業
【教員】加藤大輔 横井彩喜恵 瓜巣敦子 菅沼惇一 時松愛帆
【事務員】益田明 櫻川唯 安田千夏 黄玲 水谷文貴 富尾友紀
間宮大貴 大岩詩織 長谷川佳奈 渡辺高也

短期大学部 卒業

【教員】海老諭香 小木曾友則
【事務員】野田玉枝 山住亜子 飯島留美 栗山有里枝 西奈緒 田中幸子
桐山敏通(事務局長) 西垣幸司(学生支援部長) 飯島留美(学生課)
西奈緒(学生課) 堀江直人(学生課)

★:新任

2022年度 同窓会 決算報告

(単位:円)

■収入の部

項目	2022年度予算	決算	備考
継越金	前年度継越金 3,965,623	3,965,623	
会費	入会金 5,340,000	5,330,000	入学者533名(大学388名、短大145名)
	会費 11,440,000	10,520,000	卒業生526名(大学4年生397名、短大2年生129名)
その他	運営協力金 100,000	358,553	寄付金
	預金利息 等 4,377	811	預金利息
合計	20,850,000	20,174,987	

■支出の部

項目	2022年度予算	決算	備考
会議費	400,000	109,878	評議会、運営委員会開催費
役務費	500,000	0	同窓会事務担当者採用予定
名簿整理費	200,000	92,400	懇親会事務局による名簿整理費用
通信・印刷費	4,000,000	3,940,468	同窓会報の作成・発送
国際交流奨学金	0	0	国際交流活動に対する援助
同窓会長賞	200,000	98,094	スポーツ・文化活動で功績のあった会員
地方支部活動費	500,000	274,816	支部活動費の補助、周年事業としての学科同窓会
修学支援事業(新規)	2,500,000	2,500,000	コロナ禍における修学支援(期間限定)
活動費	1,000,000	409,393	ホームカミングデー、学びの森フェスティバル(同窓生サロン)
事務費・消耗品費	50,000	16,022	Zoom会議用ヘッドホン、宛名ラベル
慶弔費	150,000	44,000	弔電、大学行事への協賛(スタンド花等)
雜費	20,000	7,590	振込手数料
記念事業積立金	10,000,000	10,000,000	短大創立60周年大学創立30周年記念事業積立
予備費	1,330,000	60,000	会費返金
小計	20,850,000	17,552,661	
次年度継越金		2,622,326	
合計	20,850,000	20,174,987	

■特別会計

[記念事業積立金]

項目	収入額	支出額	備考
継越金	81,000,000		
2022年度積立金	10,000,000		短大創立60周年大学創立30周年記念事業積立
小計	91,000,000		

[国際交流奨学基金]

項目	収入額	支出額	備考
前年度継越金	2,000,000		
基金組入	0		
支出		1,250,000	
小計	2,000,000	1,250,000	
次年度継越金		750,000	

2023年度 同窓会 予算

(単位:円)

■収入の部

項目	2023年度予算	2022年度予算	備考
継越金	前年度継越金 2,622,326	3,965,623	
会費	入会金 4,630,000	5,340,000	入学者数463名(大学366名、短大97名)×1万円
	会費 11,560,000	11,440,000	卒業予定者数578名(大学4年生434名、短大2年生146名)×2万円
その他	運営協力金 300,000	100,000	寄付金
	預金利息 等 7,674	4,377	預金利息等
合計	19,120,000	20,850,000	

■支出の部

項目	2023年度予算	2022年度予算	備考
会議費	400,000	400,000	総会・評議会、運営委員会開催費
名簿整理費	100,000	200,000	懇親会事務局による名簿整理費用
通信・印刷費	4,500,000	4,000,000	同窓会報、各種案内物等の作成・発送
国際交流奨学金	1,250,000	0	国際交流活動に対する援助
同窓会長賞	200,000	200,000	スポーツ・文化活動で功績のあった会員
支部活動支援費	500,000	500,000	支部活動費の補助、周年事業としての学科同窓会
修学支援事業	1,500,000	2,500,000	第5類移行後のコロナ感染症対策費及び大学行事への支援
活動費	1,000,000	1,000,000	ホームカミングデー、学びの森フェスティバル(同窓生サロン)等
事務費・消耗品費	50,000		

研究紹介

スポーツ健康科学科

研究テーマ／通常学級に在籍している特別な支援を要する児童生徒に対する体育授業における支援のあり方

研究者／東海林沙貴

目的／通常学級にて体育授業を行う際、そこに在籍する特別な支援を要する児童生徒に対して適切な支援とはどのようなものかを明らかにすることを目的としている。

なぜこのテーマの研究に取り組んでいるか

本学に着任する前、たった2年間ですが、小学校に勤務していました。そのうちの1年半は特別支援学級の支援員として、残りの半年は、産休代替で4年生の担任をもたせて頂きました。その間に強く実感したことの1つが、「様々なニーズをもつ子どもたちへの支援や配慮しながら、クラス全体の授業を進めることが難しさ」です。

特に体育授業は、広い空間で行われることに加え、子どもたちのエネルギーや感情が表に出やすい教科です。そのような教科において、何らかの困難を抱えている/いないに関わらず、子どもたちみんなを包摂し、彼らの学びを十分に保障することは容易なことではありません。

文部科学省(2022)の調査によると、通常学級に在籍する「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合は、8.8%と推定されています。ですが、そのような児童生徒に対して、体育授業でどのような手立てを取るべきか、授業をつくるときにどんな点に配慮すべきかについて十分に検討されてきたとは言い難く、これまでの研究や実践においても、「運動が苦手な子」という見方ばかりだったのでと考えるようになりました。

業では、「テントを張る」ことが内容の1つになっていました。担当されていた先生に話を聞くと、「体育授業では特に、子どもたちが身体を動かすことの楽しさを感じたり、仲間と協力したりすること大切にしている」ということでした。一方で、地域のスポーツクラブでは、子どもたちは大会で勝つため・上手くなるためにサッカーに励んでおり、コーチ陣も「スキルが向上するように指導している」とのことでした。これらの観察からは、体育授業とスポーツクラブの役割を明確に分けることの意義が指摘できるようと思われます。



これまでの研究の成果

上述の課題意識からはじめた本研究で明らかにしようとしたことの1つが、「通常学級において支援を要する児童生徒を包摂した体育授業をする際、現場の先生方が実際にどんなことを考え、実践しているか」ということです。

小学校の先生へのインタビューを行った結果、2つの視点が必要であることが示唆されました。1つ目が、支援を要する児童生徒の特性を踏まえ、先生自身がその子に対して何をするかを考えるという視点、2つ目が、周りの児童生徒に対してどのように対応するか、また、彼らから支援を要する児童生徒たちへのはたらきかけをどう促すかという視点です。個々への支援や配慮をすると同時に、子どもたちの関係性を活かすことが重要であるということがわかつてきました。

そして、明らかにしようとしたことの2つ目が、多様な児童生徒を包摂した体育授業が、他国ではどのように展開されているのかを明らかにすることです。

そこで、今年3月にスウェーデンの教育機関を訪問しました。とある基礎学校(日本的小中学校にあたる)の体育授

幼稚教育学科

研究テーマ／令和4年度 大学生の生活習慣と食生活に関するアンケート

研究者／菊池啓子¹⁾、溝脇菜月²⁾、田嶋珠樹²⁾

1)中部学院大学短期大学部 幼稚教育学科 2)岐阜県関市健康福祉部市民健康課 関市保健センター

目的／10歳代後半から20歳代前半が多くを占める大学生は、大学入学後に親から少しづつ独立することにより、生活環境が変化し、食生活が乱れることが多いと考えられる。本研究では、大学生の生活状況把握をするとともに、4年間の追跡調査を実施することにより、①大学生の食に関する効果的な介入方法の検討、②介入した大学生の行動変容を明らかにしたいと考えた。

大学生に必要な食育

2005年に食育基本法が施行され、国や地方自治体だけでなく、様々な関係機関や団体が食育を推進していますが、食生活は常に変化し、食をめぐる課題は多く、常に効果的な食育の在り方の検討と実践に取り組む必要があります。特に、20歳代の食事および身体状況は他の世代のそれらと比較しても不適切な点が多くみられます。厚生労働省による平成29年国民健康・栄養調査結果では、朝食の欠食率が高い(男性20歳代30.6%、20歳以上15.0%、女性20歳代23.6%、20歳以上10.2%)、野菜摂取量不足の程度が大きい(男性20歳代264.9g、20歳以上295.4g、女性20歳代218.4g、20歳以上281.9g)、魚介類摂取不足の程度が大きい(男性20歳代50.7g、20歳以上75.5g、女性20歳代48.2g、20歳以上62.9g)、女性のやせ(BMI 18.5未満)の割合が高い(女性20歳代21.7%、20歳以上10.3%)等の課題が挙げられ、将来の生活習慣病等の発症につながることが懸念されています。

大学生調査の実施と結果(1年目)

この調査は2022年度入学生(幼稚教育学科・看護学科・リハビリテーション学科・スポーツ健康科学科)を対象に生活全般についての調査を実施しました。1年目(2022年度)はアンケートの実施、2023年度は集団栄養指導と個人への栄養指導を予定しています。

1. 起床時間と朝食喫食の有無

起床時間の早い人は朝食を摂取している人が多く、9時台10時台に起床している人は朝食を摂取していない人が多くみられます。

1. 起床時間と朝食喫食の有無

起床時間	朝食を食べた		朝食を食べていない		総計
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
4時台	1	100.0			1
5時台	7	63.6	4	36.4	11
6時台	76	88.4	10	11.6	86
7時台	55	80.9	13	19.1	68
8時台	12	52.2	11	47.8	23
9時台	4	44.4	5	55.6	9
10時台	1	11.1	8	88.9	9
総計	156	75.4	51	24.6	207

※割合=人数/起床時間区分の総計

対立仮説:起床時間と朝食喫食の有無に関連性はある

帰無仮説:起床時間と朝食喫食の有無に関連性はない

χ^2 値41.401は、境界値12.592よりも右側、つまり確率の小さい範囲にあるので、帰無仮説を棄却して、対立仮説を探択する。よって、「起床時間と朝食喫食の有無に関連性はある」と言える。

2. 睡眠時間と朝食喫食の有無

睡眠時間が4時間から8時間程度の人は朝食を摂取している人が多く、9時間・10時間寝てる人は朝食を摂取していない人が多くみられます。

2. 睡眠時間と朝食喫食の有無

睡眠時間	朝食を食べた		朝食を食べていない		総計
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
2時間	1	100.0			1
3時間			2	100.0	2
4時間	10	90.9	1	9.1	11
5時間	19	73.1	7	26.9	26
6時間	55	88.7	7	11.3	62
7時間	47	82.5	10	17.5	57
8時間	16	66.7	8	33.3	24
9時間	6	40.0	9	60.0	15
10時間以上	1	12.5	7	87.5	8
総計	155	75.2	51	24.8	206

※割合=人数/睡眠時間区分の総計

対立仮説:睡眠時間と朝食喫食の有無に関連性はある

帰無仮説:睡眠時間と朝食喫食の有無に関連性はない

χ^2 値43.4061は、境界値15.507よりも右側、つまり確率の小さい範囲にあるので、帰無仮説を棄却して、対立仮説を探択する。よって、「起床時間と朝食喫食の有無に関連性はある」と言える。

このように、生活時間が食事に及ぼす影響がみられる学生が本学にも多く見られるため、集団指導はもとより、個人指導を実施し、生活時間を整えるとともに食事の摂取を勧める必要があると考えます。

今後の展望

2022年度入学生は子どものころから「早寝・早起き・朝ご飯」と食教育を受けてきた世代です。保育所(保育園)・幼稚園・小学校・中学校までは、厚生労働省も力を入れて食育を推進してきましたが、高等学校からその教育が断ち切れ、社会に出る準備段階の大学生に及んでは全く食育を実施する機会が持たれていません。大学生は卒業後社会人として生活を始めることになりますが、仕事と生活の両立が難しくなり、生活(特に食事)がおろそかになる可能性が示唆されます。少しでも大学生活や社会人としての生活が健康で豊かになるように、この研究をじっくり進めたいと考えています。

トピックス 躍動する部活動

硬式野球部 | 全日本大学野球選手権ベスト8

硬式野球部は5月20日から行われた岐阜、三重、静岡による東海地区大学野球リーグ春季選手権大会を、再々試合にもつれ込む3日間の激戦の末勝ち抜き、10年ぶり3度目の全日本大学野球選手権への出場権を決めました。

6月5日に開幕(東京ドーム／明治神宮野球場)した第72回全日本大学野球選手権は、初戦、日本文理大学(九州地区北部)と対戦し、1点リードされた9回2アウトから追いつきタイブレークの末勝利しました。2回戦は天理大学(阪神大学)と対戦し、9回まで両チーム無得点と譲らず、2試合連続のタイブレークの末、勝利しました。3回戦は青山学院大学(東都大学)と対戦し0-9で敗退となりました。

準々決勝で敗退となりましたが、本学の全日本選手権での勝利は初めてで、ベスト8まで勝ち進みました。



第72回全日本大学野球選手権試合結果

- 〈1回戦〉 中部学院大学 12-9 日本文理大学
〈2回戦〉 天理大学 0-1 中部学院大学
〈3回戦〉 青山学院大学 9-0 中部学院大学

部活動の活躍 全国大会

- 硬式野球部** 第72回全日本大学野球選手権大会(6/5~7日間 東京ドーム・明治神宮野球場)
ゴルフ部男子 第60回全国大学ゴルフ対抗戦(6/21・22 苫小牧ゴルフリゾート72エミナゴルフクラブ)
ゴルフ部女子 第46回全国女子大学ゴルフ対抗戦(男子と同日程)
剣道部 第71回全日本学生剣道選手権大会兼第70回全日本学生剣道東西対抗戦(7/1・2 日本武道館)
空手道部 第67回全日本学生空手道選手権大会出場(7/2 姫路中央体育館)



空手道部の寺澤紗良選手(スポーツ健康科学科・当時1年生)が2022年10月にトルコで行われた「世界カデット・ジュニア&アンダー21選手権」アンダー21女子組手68キロ超級に出場し、優勝を飾りました。また、2022年12月にウズベキスタンで開かれた「アジアカデット・ジュニア&アンダー21選手権」も制し、世界の大舞台で躍動しました。

ナショナルチームに選出

三島きり選手(スポーツ健康科学科・当時4年生)が2年連続、女子組手-68kgで寺澤選手(同・当時1年生)がU21に続き、23年度のシニアナショナルチームのメンバーに選ばされました。

空手道部

世界大会優勝



空手道部の中路陽沙未選手(スポーツ健康科学科・2年生)が2023年4月にカナダで開催された「KARATE1シリーズA2023/バンクーバー大会」に女子個人形で初参戦しました。今回、シニアでは初めての参加で、世界ランキング外からの挑戦でしたが、JAPAN所属の世界ランキング8位の選手を抑えて見事優勝しました。

空手道のシニア全日本強化選手選考会が2023年2月、東京の日本空手道会館で行われ、本学からは、女子形で

ゴルフ部 | プロテスト5名現役合格

本学ゴルフ部の5名が2022年に行われたプロテストに現役合格を果たしました。2010年の創部以来、本学からのプロテスト合格者は14名(退部後の合格者も含む)となり、在学での合格は19年の中山絢也選手以来3年ぶり。

プロテストに合格したのは、男子が服部雅也選手、富田幸暉選手、藤田輝人選手、阪口亮太選手の4名(いずれもスポーツ健康科学科・当時4年生)、女子は荒川怜郁選手(スポーツ健康科学科・当時3年生)です。



本学のプロテスト合格者 (カッコ内はプロテスト年)

- 2010年度入学／坂井允誌(2018)
●2012年度入学／山本景子(2016)
●2014年度入学／光田智輝(2018) 縹嶺悠太(2019)
●2015年度入学／大内智文(2020)
●2016年度入学／中山絢也(2019) 金子優将(2020) 三島泰哉(同)
●2019年度入学／新井隆一(2021) 服部雅也(2022)
富田幸暉(同) 藤田輝人(同) 阪口亮太(同)
●2021年度入学／荒川怜郁(2022)

HOME COMING DAY



2023.10.21(土)

雨天決行
(一部中止となる催しもあります)

AM10:00～ 関キャンパスにて

大学祭・たのしみん祭 同時開催



500円分 食券進呈
(正門前にて受付)

スタンプラリー開催!
スタンプを集めた方には景品をプレゼント!

—— 恩師による特別講義 ——

『泳ぎを覚えて、人生豊かに!』

講師／スポーツ健康科学科 水野かづみ 教授

人間の身体活動の『歩く』『走る』『跳ぶ』などは、ある一定の年齢になればできるようになりますが、『泳ぐ』ことは、必ず誰かに教えてもらわないとできません。そして「泳げる」ことは、水の事故から自分の命を守れたり、生涯スポーツとして健康を維持できたりといいことずくめです。水泳教育の大切さを皆さまにお伝えしたいと思います。



開催の有無、イベントスケジュール等の詳細は
同窓会ホームページにてご確認ください。



EVENT

bingo大会

豪華景品が当たるbingo大会を開催します。毎回多くの卒業生の参加があり、笑顔で溢れます。

野 点

ポローニアで同窓生が抹茶のお店をOPENしています。どうぞお立ち寄りください。

恩師と語ろう

同窓会室を卒業生に開放しています。飲み物とお菓子も準備していますので、ぜひ、恩師と楽しい時間をお過ごしください。

卒業アルバム閲覧コーナー

自分の卒業年度だけでなく、先輩、後輩の卒業アルバムを見れば、中部学院の歴史を感じられることでしょう。

卒業生のみなさま
ご家族揃って、関キャンパスへ
お越しください!

第16回 大学祭

学びの森 フェスティバル

in 学びの森・各務原キャンパス

2023.11.3(金・祝) 10:00～15:00

雨天決行 (一部中止となる催しもあります)

卒業生の方はまず新学生ホールにお越しください

特典 500円分 食券進呈
(新学生ホールにて受付)

同時開催
各務原マーケット日和2023
<https://marketbiyori.com>

卒業生サロン

■制作コーナー

オリジナルキーホルダーを作りましょう。材料を準備してお待ちしています。

■恩師と語ろう

新学生ホールを卒業生に開放しています。飲み物とお菓子も準備していますので、ぜひ、恩師と楽しい時間を過ごしてください。

ステージ発表

本学学生、中高生による吹奏楽、ダンスや書道パフォーマンスなどが行われます。

あそび広場

本学学生が企画した遊びがたくさんあります。みんなで思いっきり楽しみましょう。

体験してみよう!

■お仕事ふれあいコーナー

本物のパトカーや消防自動車、自衛隊車両がやってきます。制服を着て記念写真を撮りましょう。

■地震体験コーナー

地震体験車がやってきます。実際に地震の揺れを体験して災害に備えましょう。

■ミニ新幹線

本物そっくりなミニ新幹線にみんなで乗りましょう!



開催の有無、イベントスケジュール等の詳細は
同窓会ホームページにてご確認ください。

同窓生の声

小島優美香さん

子ども学部 子ども学科 2016年度卒



大学時代の思い出

大学時代の思い出は、多くの実習と学生会の活動です。多くの実習では、子どもたちに関わりながら現場で働いている人たちの大変さや工夫された実践など、直接目にすることができる、これから自分が目指したい姿を明確化する手立てとなりました。学生会の活動では、学びの森フェスティバルをはじめ、球技大会やクリスマス会など行事に向けて準備し進めさせていただき、仲間を頼り活動する大切さを知りました。大学の出来事一つひとつが今につながる経験となりました。

最近の出来事

卒業後は、小学校教諭になり、様々な子どもたちと関わっています。毎日の生活の中で、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら過ごすことはとても大変です。しかし、大学時代のエピソード記録のように日々あった出来事を整理することで、子どもたちの言動に対する「かもしれない」を考えながら、子どもたちにより良い環境づくりを目指しています。楽しいことばかりではありませんが、これからも日々精進しながら頑張りたいと思います。

小野江優介さん

人間福祉学部 人間福祉学科 2022年度卒



大学時代の思い出

私は中部学院大学人間福祉学部の通信教育課程を2年、通学課程を2年経験して、今年3月に卒業しました。今振り返ると、どちらの2年も何物にも代えがたい時間だったように感じます。それでの良さを持つ2つの課程で学ぶことができたことは、私にとって大きな財産です。

特に、通学課程に転籍してからは精力的に課外活動に取り組んだことで、多くの経験と出会いを得ることができました。学生生活の中で学んだ価値観や思考力が、今の生活に大きく役に立っています。

最近の出来事

私はこの4月から大学院に進学し、研究の道を志して日々勉学に励んでいます。現在は主に研究法や理論など研究者としての基礎の学習に注力しつつ、学部の頃とは何もかもが変わった日々に苦労しています。

県外への進学ということもあって、環境は大きく変わり、混乱することや迷うことが増えました。そんな中、先日とある先生と再会し、激励のお言葉をいただきました。そのおかげで、モチベーションが再び高まったように感じています。学部時代の貪欲さを忘れずに、これからも学びに邁進していきたいです。

森川智央さん

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
2020年度卒



大学時代の思い出

大学では、スポーツ実技の授業が多くつたことが印象的でした。中高とは比べ物にならない程の実技で、やったことのないスポーツにも挑戦でき、楽しかった思い出があります。また、実技も授業も専門性が高く、知識や経験を増やすことができました。社会人になってからもその経験を活かして行動できることが多々あり、中部学院大学で学べて良かったと思っています。

最近の出来事

最近は、ホットヨガに通っています。元々体を動かすことが好きで、運動をしたいと思い始めました。仕事終わりに汗をかいりフレッシュできる時間がとても好きです！

ショウケツ

肖杰さん

経営学科 2006年度卒
人間福祉学部 健康福祉学科 2008年度卒



大学時代の思い出

2005年の春、中部学院大学短期大学部経営学科に入学し、2年間経営について勉強しました。安藤隆年学科長をはじめ、河野篤先生、薮下武司先生、中川雅人先生方はとても熱心に教えてくださいました。当時、私は日本語が下手でした。自分の言いたいことがなかなか言えませんでした。学科の先生や留学生の先輩、日本人のクラスメイト達にいろいろ助けていただき、無事短大を卒業することができました。

その後、人間福祉学部健康福祉学科へ編入し、福祉について勉強を始めました。当時、「福祉」を勉強していると中国の親戚や友人に話しても、理解してもらえないませんでした。しかし、今の中国では、介護人材の育成が急務であり、国家教育プロジェクトになるほど追い込まれています。二つ上の学年のリュウリンカイ先輩のおかげで、今私は非常勤の福祉教員として[介護技術]を担当し、10年前に大学で習った福祉の知識や技術を活かしています。

高齢者の介護問題は単に個人の問題だけではなく、社会全体で考えなければならない問題です。大学で学んだ福祉の知識や介護の技術、大学院で研究した成果を活かして、中国の実情に合う福祉環境を作ることが一番大切なことだと考えます。地域で生活する高齢者にとって一番効率の良い介護計画とは何か。生活上の一つひとつとの問題解決に力を入れ、より良い介護サービスを提供できるよう努めていきたいと思います。中国の若者に日本式の福祉を教え、いつか学生たちと一緒に母校へ行き、日本の福祉現場を見せたいと思っています。

6年間の留学生生活には、たくさんの思い出が残っています。日本語力をつけるため、毎日日本語の練習問題を解いたり、ボランティア活動をしたり、小学校の国際交流活動に参加したりしました。生活費を稼ぐためアルバイトも一生懸命やりました。苦労したこと、楽しかったことも、全てが人生の糧になっています。中部学院大学での6年間は本当に充実した日々でした。

最後になりましたが、大学の先生方、同窓生の皆様のご健康とご活躍を心から喜び申し上げます。ありがとうございました。

—— 人間福祉学部開設25周年同窓会を開催 ——

1997年に開設された人間福祉学部は2022年に25周年を迎えました。2023年3月11日(土)に学部開設25周年を記念し、卒業生とのつながりをつくるためのきっかけとして、Zoomを利用したオンライン形式で同窓会を実施しました。

同窓会開催のご案内をしたところ、「学生として通っている間に、様々な経験できたことが今に活きているので、とても感謝しています」「大学祭がある事が、今でも楽しみです。また家族で遊びに行きたいです」など174名の方からメッセージなどをいただきました。

当日は6名の参加がありました。佐甲学教授より、災害に関する講演をしていただいたあと、現在の人間福祉学科の紹介、教員紹介をしたのち、参加した卒業生の近況を報告していただきました。今後も継続的に企画をしていきたいと考えています。

人間福祉学部のイベントは、メールにて案内いたします。ぜひ、メールアドレスを登録してください。

メールアドレス : ningendousoukai@st.chubu-gu.ac.jp

(本文に、卒業年度、お名前をお書きください)



メール送信用
QRコード



同窓会協力金のお願い

昨年度ご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年度も引き続きご協力お願いいたします。

昨年好評につき、今年も3,000円以上の寄付者の方へはノベルティを後日送付いたします。



① あなたの整理番号です。

② 現在会報がお届けできない方々です。ご存じの方は、フリーダイヤル・フリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお伝えください。

③ 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。変更のある方はいずれかをご利用ください。

① QRコード ② フリーFAX ③ フリーダイヤル

④ 協力金の振込用紙です。ご協力お願いします。

アプリ決済もご利用いただけます

Rakuten
楽天銀行

pb
PayB

ゆうちょPay

J
Jcoin

〒121-0831
東京都足立区舎人 3-11-26

同窓 花子 様

【差出人】中部学院大学・中部学院大学
【受取人】中部学院大学部同窓会
TEL 0120-10-9899 FAX 0120-10-9184
平日10:00~17:00
(整理番号 111-3021001)

1

同窓 花子 様には、昨年度、同窓会協力金 3,000 円をいただき誠にありがとうございました。

▼住所未確認のためご本人へご伝言ください。(郵便略)

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

2

同窓 花子 様には、昨年度、同窓会協力金 3,000 円をいただき誠にありがとうございました。

▼住所未確認のためご本人へご伝言ください。(郵便略)

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

3

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

4

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

5

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

【中部大(2010)健福】 3021001浅田好江 3021005藤井純子 3021006松原早苗 3021009大西(市田)祐希
3021014下(水野)逸子 3021019大堀(石田)厚子 3021020戸田紀子 3021023佐藤(神原)千子
3021025比野高成 3021028関山真紀子 3021034G早川さやか 3021042工藤早苗 3021049清水淑代
3021052後藤久美 3021056奥村小奈見 3021057清口紀子 3021060藤原寛里 3021065太田千明
3021074加藤美月 3021075小野一徳 3021076大野洋子 3021077高橋萌里 3021078杉本範子
3021081宮川幸子 3021082上西満玲子

10

2022年度(2023年3月卒)就職状況

大学

- 卒業者数／400人
- 就職者数／372人
- 進学者数／8人

就職率 (就職者÷就職希望者)

98.4%

公務員7、公務員(保育職)4、幼稚園12、保育所8、認定こども園6、教員・講師24、その他教育・学習支援業1、一般企業100、病院(公立含む)144、福祉施設・保健所(公立)2、児童心理療育施設1、児童養護施設・乳児院7、障害者(児)支援施設6、特別養護老人ホーム12、介護老人保健施設6、その他高齢者施設6、社会福祉協議会5、複合福祉施設1

短期
大学部

- 卒業者数／150人
- 就職者数／138人
- 進学者数／4人

就職率 (就職者÷就職希望者)

100%

一般企業11、公務員(保育職)16、幼稚園16、保育所21、認定こども園13、病院9、児童養護施設・乳児院1、障害者(児)支援施設6、特別養護老人ホーム23、介護老人保健施設9、その他高齢者施設9、社会福祉協議会3、複合福祉施設1

人材バンク登録のご案内

キャリア支援センターでは卒業後も「資格を活かしてもう一度仕事がしたい」「住所が変わったが、近くでできる仕事はないか」とお考えの際に役立てるよう、中部学院大学・中部学院大学短期大学部人材バンクを設置しています。求人情報をご希望の方は下記方法でご登録ください。

人材バンク登録方法

QRコード利用の場合

右記QRコードを読み取り、「中部学院大学 人材バンク」の登録フォームから必要事項を入力し、送信してください。



E-mail利用の場合

下記項目を記入の上、career-c@chubu-gu.ac.jpへ送信してください。

- ①氏名
- ②生年月日
- ③郵便番号・住所
- ④電話番号
- ⑤E-mailアドレス
- ⑥卒業年度
- ⑦卒業学科
- ⑧希望職種(幼稚園・保育園、施設関係、病院、一般企業、その他)
- ⑨取得免許・資格
- ⑩現在の就業状況(正規雇用、非正規雇用、未就業)
- ⑪特記事項(週〇日、1日〇時間勤務希望など)

※登録された内容は、就職情報提供以外には使用しません。※連絡は原則としてE-mailで行います。

※当センターの「人材バンク」は、転職を奨励・斡旋するための制度ではありません。現在就業中の方は、慎重な対応をお願いします。

中部学院大学・短期大学部 同窓生特別入試のご案内

同窓生特別入試とは…

本学で修学され、ご卒業後も本学へのご理解とご協力をいただいていることに敬意を表し、感謝の念を入学試験制度に反映させるものです。下記の出願資格に該当する方が対象です。

出願資格

旧「済美保育専門学校・岐阜幼稚園教員養成所・岐阜済美学院短期大学・中部女子短期大学・中部女子短期大学第三部・岐阜保育専門学校」現「中部学院大学短期大学部・中部学院大学」卒業生の2親等内の血族、姻族(子女、兄弟、姉妹、配偶者など)で、本学を専願とする方。

*たとえば、受験される方のご両親、祖父母、兄弟姉妹が、卒業生の場合が対象になります。

■選考方法／●書類審査 ●自己推薦文、個人面接等による総合評価

■出願期間／2023年11月1日(水)～11月14日(火)

■試験日／11月18日(土)

*詳しくは下記までお問い合わせください。

中部学院大学 入試広報課／TEL:0575-24-2213 FAX:0575-24-2367 E-mail:nyushi@chubu-gu.ac.jp

特典① 入学金全額免除
特典② 受験料免除

中部学院大学 通信教育部 編入学のご案内 ~新しいこと、学びませんか?~

短期大学部や大学をご卒業のみなさんは、通信教育部の3年次へ編入学が可能です(大学の学部によっては4年次編入学が可能です)。編入学のメリットは、最短2年間(4年次編入学は1年間)で目標とする資格(下記参照)の取得が可能なことです。

取得可能な資格

- ◎社会福祉士受験資格
- ◎精神保健福祉士受験資格
- ◎認定心理士
- ◎スクールソーシャルワーク教育課程修了
- ◎中部学院大学アグリケアコース修了証
- ◎その他の資格：社会福祉主任用資格 児童福祉主任用資格 児童指導主任用資格 等

スクーリングについて

- ◎会場／本学(関または各務原キャンパス)・名古屋・金沢・松本・浜松・大阪・甲府
- ◎受講の目安／年平均4～5回(8～10日程度)

学費について

履修科目やスクーリング数に応じて学費を支払う単位制学費を採用。
約23(万円)／年。ムリ、ムダのない学習を進めることができます。

■2024年度出願期間(4月入学)／2024年1月上旬～2024年4月中旬(予定)

*詳しくは下記までお問い合わせください。

中部学院大学 通信教育部事務課／TEL:0575-24-2287 FAX:0575-24-2710 E-mail:tsushin@chubu-gu.ac.jp

同窓生特典があります!
特典① 入学金全額免除
特典② 選考料免除

3年次編入学試験のご案内

短期大学・大学を卒業のみなさんは、下記学部への3年次への編入学が可能です。
但し、ご卒業された学科によって編入学できる学部・取得できる資格が異なります。

■募集学部／人間福祉学部 人間福祉学科
教育学部 子ども教育学科

■選考方法／書類審査、小論文、個人面接による総合評価

■出願期間／前期:2023年11月1日(水)～11月14日(火)
中期:2023年11月20日(月)～12月5日(火)
後期:2024年1月15日(月)～1月31日(水)

■試験日／前期:2023年11月18日(土)
中期:2023年12月9日(土)
後期:2024年2月10日(土)

*詳しくは下記までお問い合わせください。

中部学院大学 入試広報課／TEL:0575-24-2213 FAX:0575-24-2367 E-mail:nyushi@chubu-gu.ac.jp

シティカレッジ関・各務原講座のご案内

シティカレッジでは、大人だけでなく子どもも対象に資格取得をめざす講座や外国語講座のほか、体を動かす健康・スポーツ系、楽しい趣味・教養の講座など、一年を通じて多彩な講座を開講しています。講座プログラムは、毎年3月及び9月に配布しています。
また、ホームページから受講申込み、資料請求も簡単にできます。本学卒業生の皆さまは、受講料が10%引きになりますので、ぜひご受講ください。

受講申込み、
資料請求は
こちらからも
できます!



中部学院大学シティカレッジ 関・各務原

シティカレッジとして、学生と一緒に毎日方に幅広い講座を提供

シティカレッジ各務原
地域を越えた新しい出会いや交流が生まれる場

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会会則

第1章 総 則

第1条(名称)

本会は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会と称する。

第2条(事務局の所在地)

本会の事務局を、〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地
中部学院大学・中部学院大学短期大学部内に置く。

第2章 目 的

第3条(目的)

本会は会員相互の親睦と教養を深め、母校の発展に寄与することを目的とする。

第4条(事業)

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行なうことができる。

- 1) 学術講演会、親睦会等の開催
- 2) 会誌の発行
- 3) その他、前条の目的を達成するために必要と認める事業

第3章 会 員

第5条(会員)

本会は正会員、準会員、特別会員をもって組織する。

- 1) 正会員は岐阜済美学院短期大学卒業生、中部女子短期大学卒業生、済美保育専門学院卒業生、岐阜幼稚園教員養成所卒業生、岐阜済美学院短期大学附設幼稚園教員養成所卒業生、岐阜保育専門学校卒業生、中部学院大学卒業生、中部学院大学短期大学部卒業生及び評議員会で承認された者
- 2) 準会員は中部学院大学・中部学院大学短期大学部の在学生及び旧教職員で準会員を希望する者
- 3) 特別会員は中部学院大学・中部学院大学短期大学部教職員

第6条(会員の権限)

会員は本会が主催する事業や学術講演会等に参加する資格を有し、会誌その他の配布を受け、これに投稿することができる。

第7条(退会および除名)

- 1) 退会を希望する者は、本会に届け出るものとする。ただし、既納の会費、入会金は返却しない。
- 2) 本会の目的に反して、本会の運営を妨げ、または本会の名誉を著しく損なう行為のあった場合は、評議員会の議決によりこれを除名することができる。

第4章 役員、運営委員、評議員など

第8条(役員)

- 1) 本会に名誉会長2名、会長1名、副会長2名(大学1名・短期大学部1名)、監事2名及び運営委員若干名を置く。
- 2) 名誉会長は中部学院大学学長及び中部学院大学短期大学部学長とする。

第9条(役員の任期)

- 1) 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2) 役員に欠員が生じたときは役員の補充を行うが、その任期は前任者の残任期間とする。

第10条(役員の職務、権限)

- 1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- 2) 会長は、運営委員会を開き議長となる。
- 3) 副会長は会長を補佐し、事故あるときはその職務を代行する。
- 4) 監事は運営委員会に出席し、本会の運営と経理会計を監査する。
- 5) 運営委員は、運営委員会を構成し、会務を企画執行する。
- 6) 名誉会長は運営委員会に出席することができる。

第11条(役員、運営委員の選任)

- 1) 運営委員は評議員の中から会長が指名し、評議員会の承認を得る。
- 2) 会長と監事は運営委員の互選とする。
- 3) 副会長は会長が評議員の中から指名し、評議員会の承認を得る。

第12条(評議員の選任・交代)

- 1) 評議員は卒業年次に学科ごと1名を互選する。
- 2) 評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 3) 評議員は評議員会を構成し、運営委員を選出する。
- 4) 評議員の交代は細則の定めるところによる。

第13条(顧問)

- 1) 本会に顧問2名(大学1名、短期大学部1名)を置くことができる。
- 2) 顧問は会長の要請があるときは評議員会、運営委員会に出席して意見を述べることができるが、採決には加わらない。
- 3) 顧問の任期は2年とし、再任は妨げない。
- 4) 顧問は運営委員会で推薦し会長が委嘱する。

第14条(監事)

- 1) 本会に監事2名を置く。
- 2) 監事の任期は2年とし、再任は妨げない。
- 3) 監事は会務を補佐する。
- 4) 監事は運営委員会の議を経て、教職員の中から会長が委嘱する。

第15条(教職員同窓会事務局)

- 1) 本会に教職員同窓会事務局を置く。
- 2) 教職員同窓会事務局は、現職の同窓生教職員をもって組織する。
- 3) 教職員同窓会事務局には、委員長1名、副委員長1名、総務委員2名、広報委員2名、事業委員2名及びキャリア支援委員2名を置く。
- 4) 任期は2年とし、再任は妨げない。
- 5) 教職員同窓会事務局は、本会の同窓会事業を支援する。
- 6) 教職員同窓会事務局の委員は運営委員会の議を経て、常勤教職員の中から会長が委嘱する。

第5章 会 議

第16条(総会)

本会の総会の開催は、評議員会において定める。ただし、会員の10分の1以上から要望がある場合は、総会を開かなければならない。

第17条(運営委員会)

- 1) 本会は、企画執行機関として運営委員会を置く。
- 2) 運営委員会は、第8条1項に掲げる役員、第15条3項に掲げる委員及び会長が指名する者をもって組織する。
- 3) 運営委員会は会長がこれを召集する。
- 4) 運営委員会においては、会長が議長となり、本会の事業を企画し、必要な一切の事項を審議し運営する。

第18条(評議員会)

- 1) 本会は、議決機関として評議員会をおく。
- 2) 評議員会は、第8条1項に掲げる役員、第12条に掲げる評議員及び第15条3項に掲げる委員をもって組織する。
- 3) 評議員会は会長がこれを召集する。
- 4) 評議員会においては、会長が議長となり、本会の重要事項を審議する。
- 5) 評議員会の議事は出席評議員(委任状を含む)の過半数の同意で定める。
- 6) 評議員会は、会長がこれを召集し、毎年1回開催するものとする。
但し必要に応じて臨時に開催することができる。
- 7) 評議員会において議決された事項は、必要に応じ会員に報告しなければならない。
- 8) 議決に加わることができる評議員の過半数が書面又は電磁記録により同意の意思表示を示したときは、その提案を可決する旨の評議員会の議決があつたものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

第6章 委 員 会

第19条(委員会)

- 1) 会長は必要に応じ、運営委員会の議を経て所定の問題に関する委員会を置くことができる。
- 2) 委員会は委員長1名、委員若干名をもって構成する。
- 3) 委員長および委員は会長が委嘱する。

第7章 同窓会支部

第20条(地域支部・認定支部)

- 1) 本会に地域支部及び認定支部を置くことができる。
- 2) 地域支部及び認定支部の設立は設立申請書を会長に提出し、運営委員会で審議の上、評議員会の承認を得なければならない。
- 3) 同窓会支部の細則については別に定めるものとする。

第8章 会 計

第21条(会の経費)

- 1) 本会の運営及び事業に必要な経費は入会金、会費、事業費、寄付金その他の収入をもってあてる。
- 2) 会費は次の通りとする。会費は前納とする。
入会金 10,000円(入学時納入)
会 費 20,000円(卒業年度納入)
- 3) 既に正会員の資格を有する者は、入会金及び会費の納入を免除する。
- 4) 旧教職員で準会員を希望する者
入会金 10,000円(退職時納入)
- 5) 特別会員は、会費の納入を免除する。
- 6) 事業費は、事業毎に運営委員会で決定する。

第22条(会計年度)

本会の会計年度は4月1日より次年の3月31日までとする。

第9章 慶事・弔事

第23条(慶事・弔事)

慶事・弔事に対しては事務局保管の内規に定めるところによる。

第10章 会則の改正

第24条(会則の改正)

本会則を改正するには評議員会において出席者の過半数の承認を得なければならない。

付 則

本会則は平成25年1月23日から発効する。
令和2年8月1日 第18条(8)を追加。

細 则

第1条(評議員の交代)

評議員の交代は、同卒業年次・学科の正会員から会長が指名し、評議員会の承認を得る。

第2条(評議員会への出席)

選任された評議員は、評議員会に学年・学科代表として出席する。

第3条(書記・経理会計)

書記・経理会計は運営委員が担当する。

中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会支部細則

第1条

この細則は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会会則第7章にもとづき、同窓会支部(地域支部と認定支部)について定めるものとする。

第2条

- 地域支部は、原則として都道府県を単位として組織するものとする。
2 地域支部の結成は、支部規約、代表者の所在地、役員の氏名、会員名簿及び支部結成経過を同窓会長に申請して認定を受けなければならない。

3 地域支部は、支部規約(制定されている場合)、役員の氏名及び会員名簿を変更した場合、同窓会長に届け出るものとする。

第3条

- 認定支部はゼミ、サークル、卒業年度別のOB会および職域団体の同窓生グループを単位として組織するものとし、構成人数は10人以上とする。
2 認定支部の結成は、支部規約、代表者の所在地、役員の氏名、会員名簿及び支部結成経過を同窓会長に申請して認定を受けなければならない。

3 認定支部は、支部規約(制定されている場合)、役員の氏名及び会員名簿を変更した場合、同窓会長に届け出るものとする。

第4条

同窓会支部を結成し、支部活動を行ったときは、その活動に要した費用の一部を補助することができる。

2 前項の補助額に対しては内規に定めるところによる。

第5条

同窓会支部が行う定期総会について、その補助申請があった場合は、年1回、補助金及び案内発送業務、返信用ハガキを提供することができる。
また、支部が行う定期総会に教職員を派遣する場合は、年1回、その会の会費相当額および旅費を本部が負担することができる。

第6条

同窓会支部が行う定期活動について、その補助申請があった場合は、年1回、補助金及び案内発送業務、返信用ハガキを提供することができる。

中部学院大学・中部学院大学短期大学部同窓会 同窓会支部活動費補助規程

(補助金の取消)

第8条

会長は、補助金の交付を受けた同窓会支部に対し、前条に定める実施報告書の内容に虚偽があった場合は、補助金の全部または一部を取り消すことができる。

2 前項により補助金を取り消す場合は、会長は当該同窓会支部に対して文書で通知しなければならない。

3 補助金を取り消された同窓会支部は、前項に規定する文書を受取ってから1週間に以内に補助金を返金しなければならない。

(改 廢)

第9条

本規程の改廃は、運営委員会の議を経て評議員会にて行う。

附 則

本規程は、平成25年(2013)年11月23日から実施する。

本規程は、令和4年(2021)年7月28日から実施する。

■中部学院大学・中部学院大学短期大学部 同窓会組織図

